

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 11 月 12 日 (2015.11.12)

【公開番号】特開 2014-70205 (P2014-70205A)
 【公開日】平成 26 年 4 月 21 日 (2014.4.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-020
 【出願番号】特願 2012-219215 (P2012-219215)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 28 日 (2015.9.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱エネルギーの作用により記録ヘッドからインクを吐出させ、記録媒体に画像を記録するインクジェット記録方法に用いるインクであって、

自己分散有機顔料及びポリウレタン樹脂を含有し、

前記自己分散有機顔料の表面電荷量が $0.5 \mu\text{mol} / \text{m}^2$ 以上 $1.5 \mu\text{mol} / \text{m}^2$ 以下であり、

前記ポリウレタン樹脂が、ポリイソシアネートに由来するユニット、酸基を有しないポリエーテルポリオールに由来するユニット、及び酸基を有するジオールに由来するユニットを有するとともに、前記ポリウレタン樹脂の酸価が $40 \text{mg KOH} / \text{g}$ 以上 $140 \text{mg KOH} / \text{g}$ 以下であることを特徴とするインク。

【請求項 2】

前記ポリウレタン樹脂の含有量（質量％）が、インク全質量を基準として、 0.1 質量％以上 10.0 質量％以下である請求項 1 に記載のインク。

【請求項 3】

前記ポリウレタン樹脂の含有量が、前記自己分散有機顔料の含有量に対して、質量比率で、 0.05 倍以上 2.0 倍以下である請求項 1 又は 2 に記載のインク。

【請求項 4】

前記酸基を有しないポリエーテルポリオールが、ポリプロピレングリコールを含む請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のインク。

【請求項 5】

グリフィン法による HLB 値が 14.5 以上であるポリオキシエチレンアルキルエーテルをさらに含有する請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のインク。

【請求項 6】

前記ポリオキシエチレンアルキルエーテルの含有量（質量％）が、前記ポリウレタン樹脂の含有量（質量％）に対して、 0.5 倍以上 2.0 倍以下である請求項 5 に記載のイン

ク。

【請求項 7】

前記ポリイソシアネートが、ヘキサメチレンジイソシアネートを含む請求項 1 乃至6のいずれか 1 項に記載のインク。

【請求項 8】

インクと、前記インクを収容するインク収容部とを備えたインクカートリッジであって、
前記インクが、請求項 1 乃至7のいずれか 1 項に記載のインクであることを特徴とするインクカートリッジ。

【請求項 9】

熱エネルギーの作用により記録ヘッドからインクを吐出させ、記録媒体に画像を記録するインクジェット記録方法であって、

前記インクが、請求項 1 乃至7のいずれか 1 項に記載のインクであることを特徴とするインクジェット記録方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 2】

また、本発明のインクに用いるポリウレタン樹脂の酸価は、 $40 \text{ mg KOH} / \text{g}$ 以上 $140 \text{ mg KOH} / \text{g}$ 以下である必要がある。尚、本発明のインクに用いるポリウレタン樹脂の酸価は、酸基を有するジオールに由来するユニットの量で調整することが可能である。